



学校評価報告書

学校名 深谷市立川本南小学校

校長名 田 辺 鉄 章 印

1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

学校教育目標、学校経営方針、具体策とその取組、児童の変容や掲げた目標等に対する評価をいただくとともに、教育環境等に対して広く意見を求め、学校がその意見を真摯に受け止め改善策を講じることで、児童をよりよく成長させることをねらいとする。

2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

(1) 自己評価

- ①児童評価 : 全児童、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)
- ②保護者評価 : 全保護者、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)
- ③学校自己評価: 全教職員、年間2回、1学期末・2学期末、質問紙(無記名)

(2) 学校関係者評価

実施方法: 18名、年間2回、11月・2月、質問紙(無記名)

評価者 : 自治会代表、民生児童委員、学校応援団代表、学校運営協議会委員、PTA本部役員、PTA顧問

(3) 第三者評価 実施していない。

3 評価の結果

(1) 主な指標の変化

①児童評価

- ・「川本南小が好きです。」 96.0% → 96.5%
- ・「ありがとうございます。」 95.0% → 97.5%
- ・「家や地域の人にあいさつができます。」 93.0% → 95.5%

②保護者評価

- ・「教育活動をわかりやすく伝えている。」 98.4% → 98.5%
- ・「校舎内外がきれいに清掃され、気持ちの良い環境」 96.5% → 98.0%
- ・「子どもは、ありがとう、ごめんなさいと言える。」 83.8% → 86.5%

③学校自己評価

- ・「あたりまえのことがあたりまえにできる児童育成 100% → 100%

- ・「自ら安全な生活を営もうとする実践力の育成」 85. 7% → 100%
- ・「図書室を積極的に利用する児童の育成」 92. 3% → 100%

④学校関係者評価

- ・7つの設問中全てにおいて、前期評価同様に大変良好な結果となった。
- ・「児童は、落ち着いた生活を送っている。」 73. 3% → 84. 6%
- ・「学校は、児童の安全に努めている。」 86. 7% → 84. 6%

(2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

【進んで学ぶ子】

- ・「進んで学習や運動に取り組んでいます。」 93. 6% → 92. 5%
- ・「家では、自主勉強をしています。」 84. 6% → 82. 4%
- ・「進んで学習に取り組んでいる。」と言っている。 85. 0% → 83. 5%

【思いやりのある子】

- ・「川本南小学校が好きです。」 96. 0% → 96. 5%
- ・「わたしは、友だちを大切にしています。」 99. 5% → 98. 5%
- ・いじめ防止と早期発見・早期対応 97. 4% → 95. 5%

【体をきたえる健康な子】

- ・児童の体力は向上したか。 100% → 100%
- ・体力向上のための工夫や活動を展開（指導）できたか。 100% → 100%

(3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

- ・授業は、楽しくて分かりやすい。 93. 6% → 93. 5%
- ・工夫した指導やその改善に努力しましたか。 100% → 100%
- ・研修の成果は児童に変化をもたらしましたか。 100% → 100%

4 次年度に向けての展望

- ・『学力向上』を引き続き最重点課題とし、マネジメントサイクルに則り、着実に指導を積み上げ、確かな学力を育成する。
- ・学校教育目標の「思いやりのある子」は、どの項目も高い数値を示しており、今後も思いやりのある児童の育成を目指したい。
- ・来年度の「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」の本発表に向け、「授業は、楽しくて分かりやすい。(93. 5%)」の数値さらに伸ばし、楽しく分かりやすい授業を目指したい。また、「工夫した指導やその改善に努力しましたか。(100%)」「研修の成果は児童に変化をもたらしましたか。(100%)」を今後も維持し、10月18日の研究発表会当日には、2年間の研究の成果を児童の変容した姿で表したい。